

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 10 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社 リブネット		
事業所名	グループホーム かざぐるま		
所在地	福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-961-1200		
自己評価作成日	平成29年9月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502686-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年9月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者さんひとりひとりが役割を持ち、入居者さん主体の生活が送れるように力を入れています。入居者さんの生活の流れにスタッフは合わせ、家事すべてにおいては一連の流れを大切にし入居者さんとスタッフが一緒になって取り組めるようにしています。入居者さんとの関わりを大切に安全・安心に生活できるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

神辺の街の中心部にありスーパーやショッピングセンター・外食施設が多くある環境に立っている。毎月1回は必ず様々なところに外出し四季を感じていただけるよう取り組まれている。入浴も午後であればいつでも入れるシステムがあり、希望があれば毎日でも入浴できるように柔軟に対応がなされている。
3食ユニット毎に皆でメニューを考え手作りを行い、入居者と食材料を買い物に行き中には一緒に調理をする役割を持っておられる方もいる。
この事で役割が持て、入居者主体の生活が送れるように支援されている。

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	各ユニットで理念を作成し、朝の申し送り時に復唱している。それを基に職員一人ひとりが年間目標を作成し実践及び振り返りを行っている。	理念は各ユニットの良く見える掲示板に貼ってあり、ユニット毎に理念をもとにした目標を掲げている。年間目標に向けた個人評価シートがあり、各自職員が半年に1回自己点検をすることで自分を振り返るきっかけとなっている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパー（エブリイ等）へ、食材を買いに行っている。町内会行事の清掃活動や祭りに参加している。	買い物や散歩はマンツーマンで行い、全利用者が月に1回は外出できるように支援している。また事業所の中に畑もあり自家栽培している野菜を収穫に行き、日々の献立に役立っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内の季節ごとの祭りや文化祭・催事（草取り・溝掃除・廃品回収）に参加している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	包括支援センター・民生委員・福祉会・家族会・近隣のグループホーム・行政担当者呼びかけ状況報告や意見交換を2か月に1回開催している。	運営推進会議は定期的に行われ、しっかりと意見交換が出来ている。多職種が集まる会議のため、徘徊がある利用者の対応や介護事故減少に向けたアドバイスを受け改善した事もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。	市役所支所の担当者に訪問する様にし、なるべく顔の見える関係を作り連携を図っている。場合によっては事業所に来ていただくこともあり、アドバイスを得ているそれにより双方向の関係が築けている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する外部研修に職員が参加し、各ユニットのミーティングで報告している。家族からの要望で拘束を行っていることもあり、定期的に検討会を行っている。</p>	<p>3ユニットで1名のみ家族の要望により壁付二点柵を実施しているが、定期的な会議で柵を外す方向での話し合いもしている。</p>	<p>身体拘束をしないように職員に研修等でしっかりと意識し、拘束に繋がらない工夫ができる環境を築いてほしい。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め防止に努めている。虐待防止委員会を発足して定期的にアンケートを行い、会議を行っている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要とされて利用されている入居者さんはおられる。</p>	/	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に十分な説明を行い、理解・納得を図り、入所後も随時ご相談に応じるよう対応している。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回(春・秋)に家族会を開催し、その中で家族との話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実践している。面会時には日頃の様子を話したり、サービス担当者会議では家族からのご要望を知れるようにしている。</p>	<p>毎月入居者の様子を各担当者がお手紙を作成し送っている。行事等があるときはお伝えするように心がけている。家族会の中で食事をしながら会話を行いアンケートも行いながら意向の把握に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見や提案等を話し合う場を設けている。</p>	<p>職員の意見や提案を反映するため各ユニットでミーティングを実施している。そこで出た意見として毎月1回のドライブや外出先を提案し聞き入れてもらう事もある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。また、ユニットでのミーティングで職員同士の介護技術をチェックし合っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>初めての企画として市の相互研修に参加をし意見の交流を図った。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>相談から利用に至るまで、本人・家族と面談し、お話しをお聞きする。また、見学や体験入所をしていただき、環境を把握していただくことで、不安を取り除きながら、安心して入所いただく。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえるような関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に答えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者さん主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	事業所がすべてしてしまうのではなく、家族の協力も得ながら、お互いに相談しながら関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	自宅や地域の祭りや花見などの地域行事に参加したり、帰宅したい時には帰宅出来るようにして家族の都合がつけば外泊できるようにしている。又、事業所に家族が宿泊されたり、電話などを使い関係が途切れないように支援している。	馴染みの関係が途切れないように友人が面会に来たり、昔から行っている教会にお連れしたりしている。また地域のお祭りにできるだけ参加し、馴染みの関係を継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士で好きにしてもらっている。単独での行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者さん同士が楽しみながら生活できるようにユニットに関係なく交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院の為退去した方へ入居者さんと一緒にお見舞いに行ったり、亡くなられた方への葬儀に参列している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話から得られた入居者さんの思い・要望は、個人記録に記載し、職員間に周知され、可能な限り希望に沿うようにしている。困難な場合は、行動や表情など把握するとともに、家族の協力を得ながら対応している。	本人の要望により料理が作りたい入居者にはメニューから一緒に考え、一緒に作成している。また帰りたいと言う要望のある入居者には家族の協力を得てその都度柔軟に対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人の会話、面会時の家族との会話やサービス担当者会議で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティング時に全員で行うモニタリング（3か月に1回）以外にも申し送りノートを使用したり、少しの時間を利用して個々のスタッフの間でも意見交換をし少しでも多くの情報を反映出来るように取り組んでいる。</p>	<p>3ヶ月毎に職員全体でモニタリングを行っている。介護に対する検討を行った事で、入居時寝たきり状態の入居者の改善事例もある。チームで作る介護計画を基に生き生きとした生活が送れるように取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物等の行事へ参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用している。なお、必要があれば、専門医の受診を行っている。</p>	<p>ほとんどの入居者が法人と関わりがある総合病院が主治医となっている。中には以前の馴染みの病院を希望される方にはそのまま主治医を継続していただいている。また専門医が必要な場合にはその都度お連れしている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>医療連携にて、訪問看護師といつでも相談できるように体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院との連携を密にし、すこしでも早期に退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に説明を行い同意書を得ている。状況変化が起きた場合は、家族・医師・職員など三者で話し合い、共有しながら、ケアに向け取り組んでいる。</p>	<p>総合病院と連携をしながら看取りは積極的に行っている。点滴等の支援はなるべくできるだけ穏やかに看取るように職員で協力して行っている。入居時のアセスメントで終末期の説明を行い、日頃から嗜好も取り入れる聞き取りを行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。定期的にスタッフ全員救命救急講習を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の職員指導の元に避難訓練を年2回実施し、通報・消化・避難等の訓練を行っている。すでに災害全般マニュアルを作成している。運営推進会議の中でも話愛はしている。今後は、家族会の中で実践に向けた取り組みを考えている。</p>	<p>毎年2回消防署の立ち会いのもと訓練を実施している。また夜間想定訓練も実施されている。家族の中には防災に対する不安な方もおられるため今後は家族会と合同で訓練を行いたいと思っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	外部研修や内部研修を通じ、職員間で話し合い、尊厳を大切に言葉かけや対応するよう周知している。個人情報等を外部に漏らさないよう徹底している。	入居者の部屋には勝手に入らず同意を得てから入るようにしている。トイレ等の声掛けでは直接的な声掛けでなく周りに配慮した声かけを行っている。また入居者の目線に立ち馴れ馴れしい言葉遣いにならないように気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者さんの要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者さんの希望が分かったら即実行できるか考えるように、意識付けの元で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談して、その時に着る服やを選ぶようにしている。訪問美容室を利用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を一緒に決めてから、食材の買出しへ行っている。調理時には、各入居者さんの出来るところを担当してもらい、入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている。月1回はドライブの後に外食を楽しんでいる。	3ユニットがそれぞれメニューを考え手作りを行っている。メニュー作りは新聞広告など参考に皆で見えて何が食べたいか意向の把握に使用している。それをもとに買い物に行き食材と一緒に買いに行っている。発語が難しい入居者にはジェスチャーで意向の把握に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握出来るようにしている。個々の状態に応じて食べれない時には食べれる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い介助が必要な方にはスタッフが誘導して行っている。訪問歯科にて半年に1回の検診をお願いしている。検診にて治療が必要な場合は、家族の許可を得て治療を行う。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、個々の時間帯で声掛けを行い、トイレ誘導をしている。一人一人の体調に合わせた援助でオムツからリハパンに改善された方もいる。</p>	<p>ミーティングにて利用者毎に排泄状況を確認し個別に声掛けをすることでおむつにならないように支援している。そのため事業所内にオムツの方はほとんど居られない。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の元、下剤の使用行っている。予防としては、水分摂取量に気をつけている。腹部マッサージ等を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者さんがお好きな音楽を流したり、好みの入浴剤を入れ心地よく入浴できる環境を作り、職員とコミュニケーションが取れる場を提供している。</p>	<p>各ユニットに個浴が設置してあり入浴時間は午後いつでも入れる環境を整え入浴の回数は決めていない。一人ひとりにゆっくりと時間をかけることで職員と話をする機会作りにもなっている。入浴を拒まれる入居者には無理せず声掛けし、時間や声掛けを工夫する事で出来るだけ入れるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は特に決ま りはなく、入居者さんのリズム で生活して頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>処方箋説明書を各入居者さんの カルテに閉じていつでもスタッ フが確認できるようにしている。 往診、受診時に聞いた注意事 項に関しては、往診ノートに記 入するようになっており、全ス タッフが薬についての確認が 出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>いままでに培った来たことで、 本人のできることを職員の協 力とともに行う。また、外出 支援を行い、気分転換をして いる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>四季の外出や地域行事・買い 物・ドライブ、また、家族の 協力を得て、外出・外泊にも 出かけている。</p>	<p>居室が2階と3階にあり外が あまり見えないため外に出る 機会を持つように支援してい る。 毎月行われている外出支援 には入居者皆で作ったお弁 当を持参し楽しめるように 計画している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの 支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしてお らず、各ユニットの事務所に 金庫を設け管理しているが、 使いたい時に使えるように している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループホーム かざぐるま)	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	好きな時に電話をしたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。清潔を保つように、毎日、職員が掃除を行う。また、食事を作る音や匂いにより、家庭的な雰囲気のある共有空間をつくっている。	各行事に向け飾り付けを各ユニット毎に工夫する事で心地良い共用空間づくりを支援している。リビングも広く過ごしやすい環境があり食事を作る風景もよく見えるようになっている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	リビングの中の様々な場所にテーブルやソファがあり、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。また、仏壇を居室に置かれ、日課として拝まれている。	ベット、エアコン、カーテンは事業所で設置してある。自宅で使用していた馴染みのタンスや仏壇を持ち込まれている方もおられる。買物に行った際にお気に入りのぬいぐるみを購入し居室に置いている方や、折り紙で鶴を作成するのが好きな方は壁に飾ったりと居心地の良い環境になっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	各入居者さんの個室、お風呂、トイレ等わかりやすいようにしている。		

V アウトカム項目(せせらぎ) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(こもれび) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(かがやき) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 平成29年10月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	夜間、自力動作にて柵(ベッド)を取り転落のおそれがあり二本柵にしている。(家族の了解を得ている)	ベッド柵を一本にして就寝してもらい、その為に床にマットを敷く事やセンサーマットの使用をためしてみる。	身体拘束をしないよう職員に研修や勉強会でしっかり意識し拘束に繋がらない工夫をする。	1ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。